

11月度 例会 個人 山行報告書		報告者	白井	参加 メンバー	CL: 山田 SL: 方田 神戸、吉田、吉田、亀山、 津田、藤田、松浦、谷川、 白井(記)
		報告日	11/23		
山域	中央アルプス	山行日	14年 11月 8日 (土)		
山名	木曾駒ヶ岳		14年 11月 9日 (日)		
山行目的	冬山合宿偵察		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者



11/7 晴れ
19:00 N1P 発
22:00 登山道着

11/8 晴れ
5:40 登山開始
6:30 敬神ノ滝小屋
6:50 3合目
7:45 4合目
8:45 5合目
9:40 6合目
10:30 7合目
11:45 8合目
13:20 9合目
テント設営
20:00 就寝

11/9 小雨
4:30 起床
5:30 出発
6:00 木曾駒ヶ岳
7:00 宝剣岳
8:30 9合目
テント撤収
10:20 8合目
11:35 6合目
12:50 4合目
13:35 神ノ滝小屋
14:30 登山道着

〈山行報告〉仕事を早めに切り上げN1駐車場に向かう。登山道に着いた後は、テントを設営しそのまま飲み始めた。私は翌日が不安だったので早めの23時には切り上げて就寝した。遅い人でも0時は過ぎていなかったように思う。翌日はまだ暗い6時前から登り始める。睡眠時間は短めだが登山の興奮もあり眠くは無い。登山口から敬神ノ滝小屋までは林道であり、自動車で行くことも可能である。初めてのテント泊という事もあり20Kgのザックを担ぐのは初めて。最初は楽に感じたが、少し歩くと肩と腰にずっしりと響く。途中、山田CLよりテノ場を8合目から9合目へ変更する旨が伝えられる。翌日の天候悪化を見込んでのことである。歩いていると7合目を過ぎた辺りから空気が薄くなっていくのが分かる。足を止めれば楽になるが、歩くとすぐに息が上がる。深呼吸を意識しながら歩く。付いて行くのがギリギリだったが、松浦さんがバテて行進速度が落ちてからは余裕が出た。昼過ぎには9合目に到着し、今シーズンは営業を終了した玉の窪山荘の脇にテントを設営する。この後は、夜までのんびり雑談をしながら飲んだ。晩御飯は炊き込みご飯と豚汁であった。山の上での食事はとても美味しく感じた。この日はかなり早めの20時に就寝となった。疲れていたため8時間半しっかりと熟睡できた。二日目は、木曾駒ヶ岳と宝剣岳に分かれる予定であったが、雪が無かったため全員で宝剣岳まで行くことになった。ただし、朝から霧がかかっており道は分かりづらく、木曾駒ヶ岳、宝剣岳に登った時

も周りの景色は見られず残念だった。また、予想通り6時過ぎからは天候も悪化し、雨の中、テントを撤収し下山した。今回、準備したアイゼン、ピッケルは使う機会がなく、雪山体験が出来ず残念。初雪山は次回以降になった。また、今回苦しまされた20kg超のザックに慣れるため、今後も泊まりの登山への参加や、日帰りでもザックを重たくしトレーニングしようと思う。



木曾駒ヶ岳山頂

〈リーダー所見〉2日目は雨となったが、初日に行動を前倒ししたので、予定通り宝剣岳まで登頂出来た。冬山合宿の偵察も、テノ場候補(5合目、8合目)、難所(木曾前岳頂上付近)、ザイルを出す箇所(宝剣岳)、間違えやすい箇所(木曾駒-中岳間コル)を確認出来たので、目的を果たす事が出来た。冬山合宿に反映して行きたい。新人の白井君には、重装備・悪天候の長時間歩行トレーニングが出来たので有意義な山行となった。

確認
(リーダー)
山
14/12/07
田
作成
(報告者)
白
14/11/23
井